

安全報告書 2015



株式会社 札幌振興公社

株式会社札幌振興公社 安全報告書

藻岩山ロープウェイ（複線交走式普通索道）
大倉山ジャンプ競技場リフト（単線固定循環式特殊索道）

平成26年度分

（2014年度分）

目次

利用者の皆様へ	1
1 安全基本方針	1
2 安全重点施策	2
3 事故等の発生状況	2
3-1 索道運転事故	2
3-2 インシデント	2
3-3 強風・雷・大雪による運休の状況	2
4 輸送の安全確保のための取組み	3
4-1 安全教育	3
4-2 緊急時の対応訓練	3
4-3 索道施設の検査及び整備	4
4-4 その他安全の取組み	5
4-5 平成27年度整備計画	6
5 安全管理体制	7
5-1 安全管理体制	7
5-2 お客様へ	7

利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用、誠に有難うございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 札幌振興公社
代表取締役社長 星野 尚夫

1

安全基本方針

当社は安全第一の意識をもって事業活動を行い、「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底しております。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し厳正・忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時はもつとも安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

安全基本方針に基づき、お客様の事故防止や安全確保に最善を期するため、次のように策定しております。

- (1) 始業点検及び定期点検を完全実施し、施設責任事故をゼロにする。
(藻岩山、大倉山共通)
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
(藻岩山、大倉山共通)
- (3) 始業前には、指示・連絡事項を伝達するとともに、運転業務従事者の健康状態等の把握に努める。
(藻岩山)
- (4) リフト係員は、運行の安全確認を行うとともに、乗降の際は「声かけ」を徹底して行い、危険と感じた時は直ちに非常停止措置を行う。
(大倉山)

3-1 索道運転事故

平成26年度は索道運転事故の発生はありませんでした。

3-2 インシデント

索道運転事故の発生する恐れがあると認められる事態のことで、平成26年度はインシデントの発生はありませんでした。

3-3 強風・雷・大雪による運休の状況

(1) 藻岩山ロープウェイ

終日運休	14日間 (156時間30分)
一時運休	25日間 (72時間00分)

(2) 大倉山ジャンプ競技場リフト

終日運休	5日間 (43時間00分)
一時運休	30日間 (68時間10分)

4-1 安全教育

輸送の安全に役立つよう、営業期間中にはお客様に対する接客研修を実施し、整備期間中には過去の事故例を題材にした研修などを実施いたしました。



藻岩山ロープウェイ接客研修
(営業期間 H26. 4. 2～4. 5)



大倉山ジャンプ競技場リフト安全教育
(整備期間 H26. 4. 7～4. 18)

4-2 緊急時の対応訓練

営業運行中の停電及び機械故障を想定し、救助訓練及び予備原動機操作訓練を整備期間中に実施いたしました。

【藻岩山ロープウェイ】

(実施日：H26. 11. 29)



搬器からの救助訓練



予備原動機を使って搬器を回収する訓練

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

(実施日：H26. 4. 14)



救助用具を使って救助する訓練



予備原動機を使って運転する訓練

4-3 索道施設の検査及び整備

営業期間中は、始業点検をはじめ法定点検の実施、消耗部品の交換、給油作業、施設内の巡回点検を行っています。

また、整備期間中には営業期間内に実施できない機械、電気装置等の整備や更新工事及び部品の交換作業を行っています。

【藻岩山ロープウェイ】

整備実績として、ロープウェイ接続装置解体点検、搬器移動、制御保安点検、各機器オイル等の交換を実施いたしました。



接続装置解体・搬器移動



搬器揺れ減衰装置オイル交換

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

整備実績として、電動機オーバーホール、常用ブレーキオーバーホール、制御保安点検、高圧ケーブル診断を実施いたしました。



電動機オーバーホール



常用ブレーキオーバーホール



制御保安点検



高圧ケーブル診断

4-4 その他安全の取組み

(1) AEDの設置・救助訓練・消防訓練

各施設にAEDを設置するとともに、毎年(公財)札幌市防災協会から講師を招き、社員のほとんどが普通救命講習(心肺蘇生法、AEDの使用、止血法)を受講しています。

また、年2回の消防訓練を実施しています。

【藻岩山ロープウェイ】

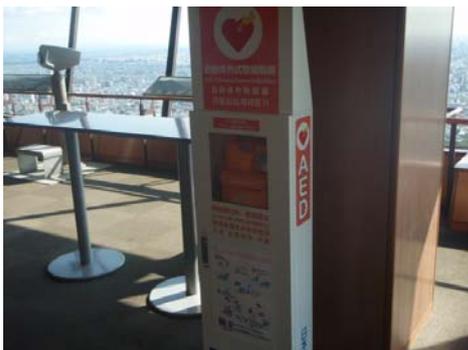


普通救命講習



消防訓練 (H26.4 H26.11 実施)

【大倉山ジャンプ競技場リフト】



AED (山頂展望ラウンジ)



消防訓練 (H26.6 H26.11 実施)

(2) 案内表示・改札案内放送の多言語対応

【藻岩山ロープウェイ】

山麓駅入口の運休案内看板や料金表示の一部を、日本語、英語、中国語、韓国語の表示にいたしました。

また、ロープウェイの改札案内放送を平成27年3月から日本語、英語、中国語、韓国語の案内放送にいたしました。



山麓駅入口の運休案内看板

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

山麓リフト乗降場では、乗車中の注意案内放送を日本語のみで流していましたが、平成26年10月から日本語と英語の案内放送にいたしました。

(3) 乗降場の安全対策

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

リフト乗降場の床面（ゴムマット：緑色）に、危険箇所を赤の斜線、注意箇所を黄色の斜線、乗り場・降り場を白の線と文字で表示し、乗降場所と危険箇所がお客様にわかりやすいよう表示いたしました。

また、降り場手前に人工芝（厚さ：3cm、幅：2.5m、長さ：6.5m）を設置しました。（転落時の怪我防止用として設置）



山麓リフト乗り場



山麓リフト降り場

4-5 平成27年度整備計画

【藻岩山ロープウェイ】

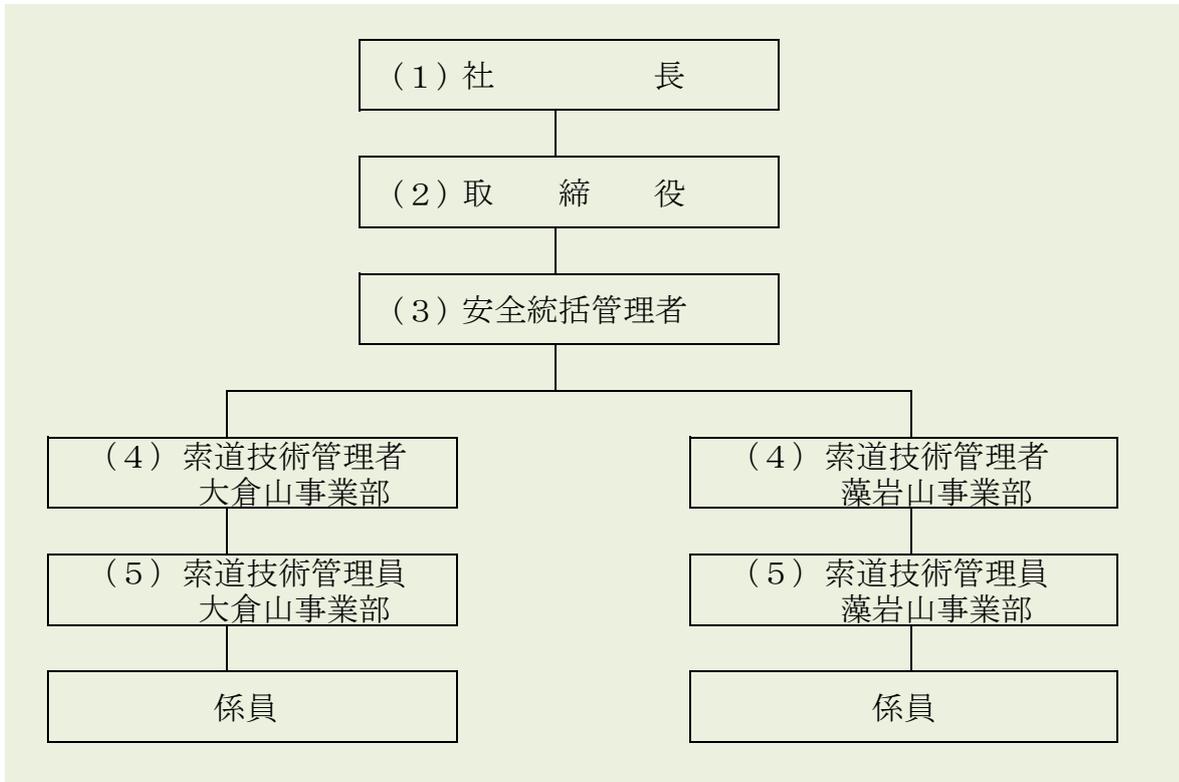
- (1) 接続装置解体点検整備及び搬器移動
- (2) 各機器のオイル交換及び走行機等の給油
- (3) 制御保安点検

【大倉山ジャンプ競技場リフト】

- (1) 減速機オーバーホール
- (2) 原動滑車ゴムライナー交換
- (3) 制御保安点検

5-1 安全管理体制

当社の索道事業における安全確保に関する体制は、下図のとおりとし、各責任者の責務を明確にしております。



- (1) 社長 輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- (2) 取締役 設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。
- (3) 安全統括管理者 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- (4) 索道技術管理者 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
- (5) 索道技術管理員 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

5-2 お客様へ

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

藻岩山事業部 TEL (011) 561-8177
(藻岩山ロープウェイ) FAX (011) 561-8178
HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>

大倉山事業部 TEL (011) 641-1972
(大倉山ジャンプ競技場リフト) FAX (011) 632-4901
HP <http://www.sapporo-dc.co.jp>